



水面のピッチに悩まされ 開幕連勝ならず...

駒澤大学 2-2 亜細亜大学

先制点を奪われ悔しさを滲ませる檜山 (撮影：森下和貴)

4月14日 13:50 東洋大学朝霞グラウンド	
駒大 2 (0-2) 2 亜大 (2-0) (2位) (9位)	
得点者 (アシスト)	
[駒]48分 小牧 [駒]51分 若山	[亜]11分 滝本 [専]36分 和田(須賀)
KOMAZAWA	AZIA
GK②檜山昇吾(3) DF⑩大木 暁(2) DF④三澤祥馬(4) DF⑩嶋谷昇大(1) DF③田中雄一(3) MF⑮水野裕之(3) (HT)②若山瞭太(3) MF⑧碓井鉄平(3) MF⑦小牧成亘(2) MF⑪湯澤洋介(4) MF⑬板倉直紀(2) (66分)⑥中村 駿(1) FW⑯小牟田洋佑(2) (79分)⑨山本大貴(3)	GK①伊藤彰人(4) DF②猪瀬 陵(4) DF③川島優治(3) DF⑤滝本翔平(2) (90分)③佐藤 帆(3) DF④坂梨 吏(4) MF⑧今野 昭(2) MF⑩須賀智哉(2) (59分)④市倉滉大(4) MF⑦和田祐樹(4) MF⑥阿川隆太(2) (72分)③星野佑太(1) MF⑩當銀 郁弥(4) FW⑫若松祐介(3)
S U B	S U B
GK⑥積田景介(1) DF⑬平尾優頼(2) MF⑤宮城雅史(4) MF⑬磯部裕基(2)	GK②井上雅人(2) MF⑬林 健太(3) FW⑥栗城昇生(4) FW⑯有ヶ谷 遼(3)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 小島 徹
[シュート] 8:7 [GK] 2:7 [CK] 6:5 [直接FK] 16:18 [間接FK] 4:4 [主審] 藤原暢夫 [観衆] 約 147 人 [天候] 雨 [風] 弱風	
警告(C)/退場(S)	
[駒]10分 碓井(C) [駒]41分 嶋谷(C) [駒]57分 若山(C) ※データの左側が駒大	

悪天候 足元すくわれドロ-

人工芝の上には一面にわたって大量の水が広がっていた。

最悪のピッチコンディションとも言えるなか迎えた亜細亜大戦。東京都リーグからの昇格を果たし、勢いに乗っている亜大との一戦は、まさに天候が示すような、晴れ間のない試合となった。

前半から主導権を握ったのは亜大。前線から積極的にプレスをかけ、駒大に思うようにプレーをさせない。スリッピーな戦場も手伝い、駒大は押し込まれる時間が続く。相手のペースに従わされると11分、与えたFKからミスが重なり。前節無失点に抑えた守備陣が早くも先制点を許してしまった。

ここで立て直せないのが、昨季からの課題でもある。連携が上手いかず決定機を作れないでいると36分。今度は相手のパス回しから最終ラインに”門”を作られ、2点ビハインドの展開に。

前半で放ったシュートはわずかに1本。雨が強まるなか、駒大イレブンにも暗雲が広まったまま前半を終了した。

後半開始のホイッスルが響き渡り、試合が動いたのはその直後のことだった。15分間のインターバ

ルを経て気持ちを入れ替えた駒大は、ここから怒涛の反撃にでる。

48分、積極的な攻めから田中がクロスを挙げると、最後は小牧がシュートを放つ。一度は防がれるも、「思いっきり打った」(小牧) ボレーシュートは見事にゴールネットに突き刺さった。会場の雰囲気に合わせてるように、降り続いていた雨も徐々に弱まっていく。本来の形を取り戻した駒大は51分、少し離れた位置でFKを獲得するとキッカーは碓井。ボールはゴールへとまっすぐ進んで行き相手GKに阻まれる。こぼれた球に、「狙っていた」と試合後に語った若山が押し込み、試合を振り出しに戻すことに成功した。

その後も勢い劣らず、運動量でもまさり猛攻を仕掛けるがあと一点が奪えず。流れを変えようと、前節2得点の活躍をみせた中村を66分に投入。攻撃に厚みを増した。それでも追加点を挙げられずにいると、86分に湯澤が一時負傷退場の事態に。駒大に残された交代カードはすでにない。ワンサイドゲームで試合を支配するもここで試合終了。

「雨の影響でやりにくい感じはあった」と、主将の三澤が振り返った一戦は天候の影響もあり、最後まで決められない駒大の悪い癖が象徴された試合となった。(佐藤 亮)